

# 令和6年度「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の取組状況に係る調査

## 馬の結果 (詳細版)

### 調査概要

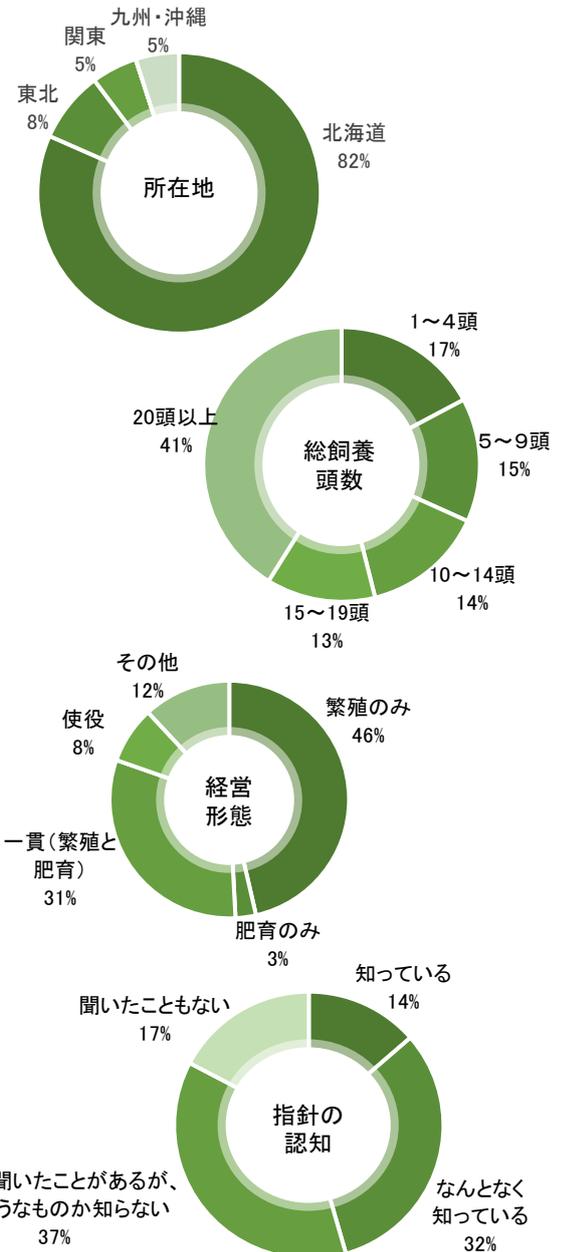
本調査は、農林水産省が令和5年7月に発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の取組状況を把握し、今後の国内におけるアニマルウェルフェアの取組の推進のための基礎データとするため、**令和6年11月～令和7年2月**に全国の馬の生産者を対象に実施したものである。

本調査の実施にあたっては、都道府県畜産主務課及び畜産関係団体（公益社団法人畜産技術協会）の協力のもと**オンラインフォームまたは紙の調査票**を通じて回答を回収し、農林水産省において、各設問の有効回答の積み上げにより集計を実施した。

本調査への**総回答数は、387件**であり、回答者に種牡馬のみや繁殖育成等の飼養者が含まれる。なお、調査結果の集計にあたり、無回答及び無効回答の排除等の処理を行ったため、設問間で回答数が一致しない場合がある。

### ○ 基本情報

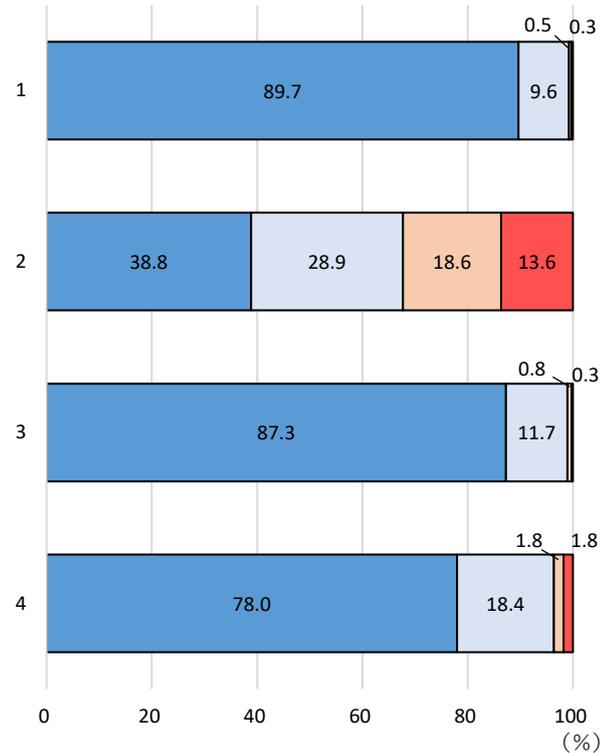
	回答数	割合
1 貴農場の所在地を記載してください。全体	343	100.0%
北海道	280	81.6%
東北地方	28	8.2%
関東地方	18	5.2%
中部地方	0	0.0%
近畿地方	0	0.0%
中国・四国地方	0	0.0%
九州・沖縄地方	17	5.0%
2 貴農場における馬の総飼養頭数について当てはまる選択肢を選択してください。	384	100.0%
1～4頭	66	17.2%
5～9頭	56	14.6%
10～14頭	55	14.3%
15～19頭	49	12.8%
20頭以上	158	41.1%
3 貴農場の経営形態を選択してください。	362	100.0%
繁殖のみ	168	46.4%
肥育のみ	10	2.8%
一貫（繁殖と肥育）	113	31.2%
使役	28	7.7%
その他	43	11.9%
4 令和5年7月に農林水産省が発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」について、どのようなものか知っていますか。	382	100.0%
知っている	52	13.6%
なんとなく知っている	122	31.9%
名前は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない	142	37.2%
聞いたこともない	66	17.3%



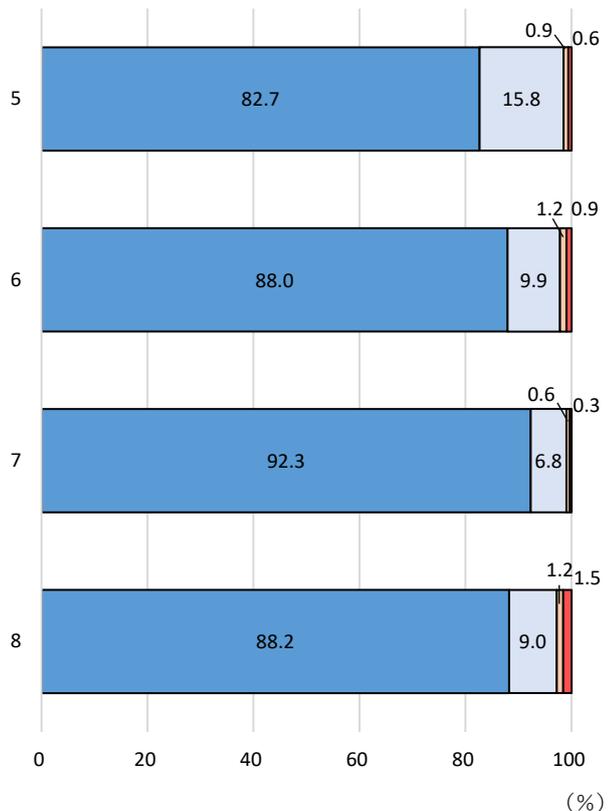
# ○ 飼養管理に関すること

## 1 管理方法について

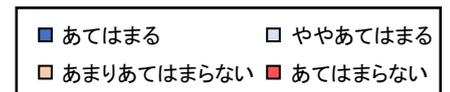
		回答数	割合
1 1日1回以上、馬の飼養環境や健康状態を確認している。	全体	387	100.0%
	あてはまる	347	89.7%
	ややあてはまる	37	9.6%
	あまりあてはまらない	2	0.5%
	あてはまらない	1	0.3%
2 飼養管理に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	全体	381	100.0%
	あてはまる	148	38.8%
	ややあてはまる	110	28.9%
	あまりあてはまらない	71	18.6%
	あてはまらない	52	13.6%
3 馬に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを避けるなど、可能な限り馬を丁寧に扱っている。	全体	385	100.0%
	あてはまる	336	87.3%
	ややあてはまる	45	11.7%
	あまりあてはまらない	3	0.8%
	あてはまらない	1	0.3%
4 こまめに蹄を観察し、定期的に削蹄を行っている。	全体	386	100.0%
	あてはまる	301	78.0%
	ややあてはまる	71	18.4%
	あまりあてはまらない	7	1.8%
	あてはまらない	7	1.8%



		回答数	割合
5 分娩区域は、馬に清潔で快適な環境(敷料、分娩馬房の提供、適切な気温、衛生等)となるよう、十分に清掃し清潔に保っている。	全体	329	100.0%
	あてはまる	272	82.7%
	ややあてはまる	52	15.8%
	あまりあてはまらない	3	0.9%
	あてはまらない	2	0.6%
6 夜間の分娩に備えた照明、保温及び滑り止めのための敷料等を提供している。	全体	324	100.0%
	あてはまる	285	88.0%
	ややあてはまる	32	9.9%
	あまりあてはまらない	4	1.2%
	あてはまらない	3	0.9%
7 出生した子馬には、可能な限り早く、伝染性疾病に感染する恐れのない良質な初乳を十分量飲ませている。	全体	325	100.0%
	あてはまる	300	92.3%
	ややあてはまる	22	6.8%
	あまりあてはまらない	2	0.6%
	あてはまらない	1	0.3%
8 子馬の離乳は、栄養要求量を満たす飼料を自ら摂取できるようになってから行っている。	全体	323	100.0%
	あてはまる	285	88.2%
	ややあてはまる	29	9.0%
	あまりあてはまらない	4	1.2%
	あてはまらない	5	1.5%



※経営形態として「肥育のみ」を実施している者は、5～8は非該当



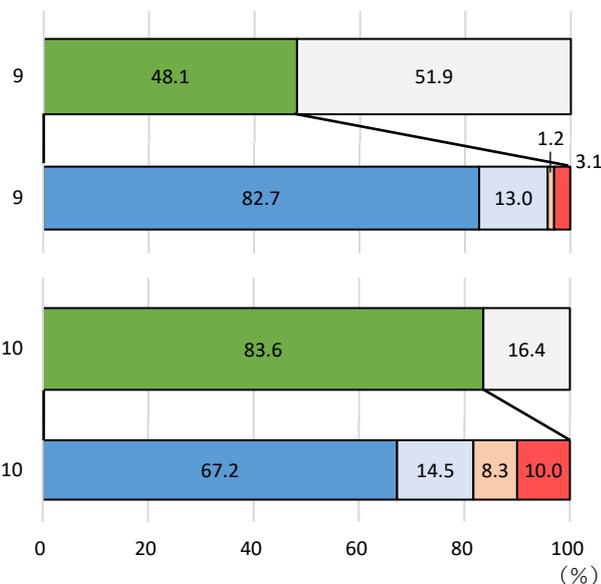
# ○ 飼養管理に関すること

## 1 管理方法について (続き)

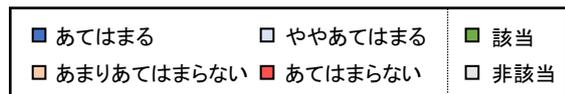
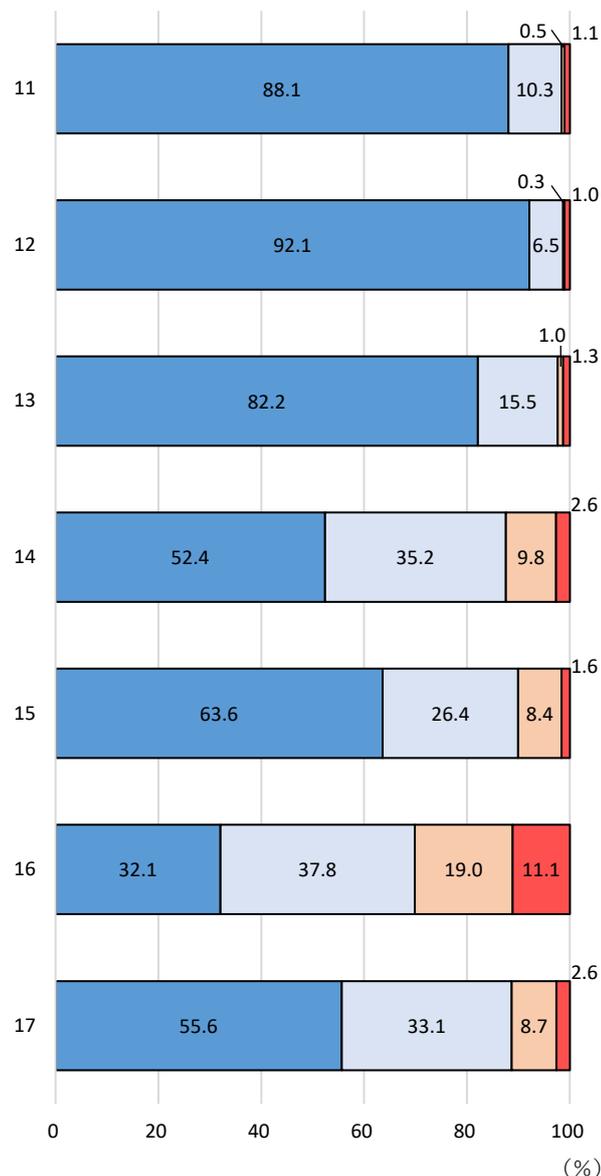
		回答数	割合
9 去勢を行う場合、可能な限り苦痛を生じさせない最適な方法及び時期について獣医師の指導を求め、離乳時期と重ならないよう考慮する等、馬へのストレスの防止や感染症の予防に努めている。	全体	337	100.0%
	あてはまる	134	39.8% (82.7%)
	ややあてはまる	21	6.2% (13.0%)
	あまりあてはまらない	2	0.6% (1.2%)
	あてはまらない	5	1.5% (3.1%)
	非該当	175	51.9%
10 個体識別を目的としてマイクロチップの挿入や烙印を実施する場合は、合併症の兆候を識別できるように、使用方法に関する知識を習得している。	全体	347	100.0%
	あてはまる	195	56.2% (67.2%)
	ややあてはまる	42	12.1% (14.5%)
	あまりあてはまらない	24	6.9% (8.3%)
	あてはまらない	29	8.4% (10.0%)
	非該当	57	16.4%

※1 実施していない場合、非該当

※2 ( )内は非該当数を除いたときの割合

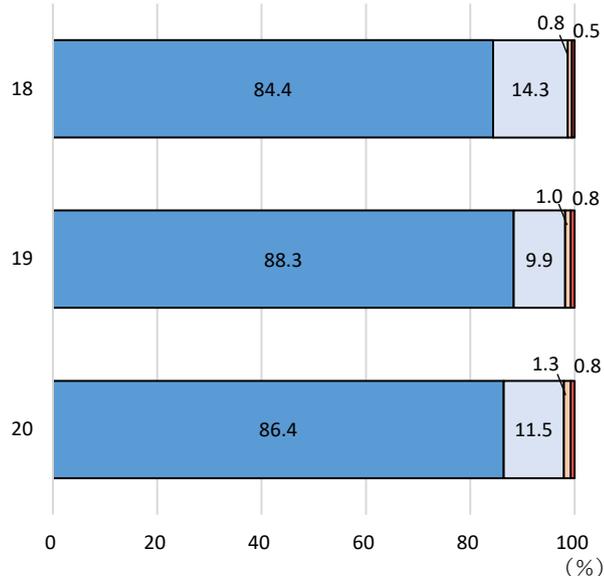


		回答数	割合
11 疾病に罹患し、又は損傷しているおそれのある馬が確認された場合、可能な限り丁寧に移動させ、隔離し、獣医師による速やかな診断を受ける等、迅速に手当を行っている。	全体	378	100.0%
	あてはまる	333	88.1%
	ややあてはまる	39	10.3%
	あまりあてはまらない	2	0.5%
	あてはまらない	4	1.1%
	非該当	0	0.0%
12 疾病に罹患した馬又は損傷した馬について、治療等の対応を決めるため、獣医師による速やかな診断を受けている。	全体	382	100.0%
	あてはまる	352	92.1%
	ややあてはまる	25	6.5%
	あまりあてはまらない	1	0.3%
	あてはまらない	4	1.0%
	非該当	0	0.0%
13 厩舎の清掃や消毒等を行い、施設、設備等を清潔に保っている。	全体	381	100.0%
	あてはまる	313	82.2%
	ややあてはまる	59	15.5%
	あまりあてはまらない	4	1.0%
	あてはまらない	5	1.3%
	非該当	0	0.0%
14 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守するとともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝染性疾患の発生予防に必要な知識を習得している。	全体	378	100.0%
	あてはまる	198	52.4%
	ややあてはまる	133	35.2%
	あまりあてはまらない	37	9.8%
	あてはまらない	10	2.6%
	非該当	0	0.0%
15 病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除している。	全体	379	100.0%
	あてはまる	241	63.6%
	ややあてはまる	100	26.4%
	あまりあてはまらない	32	8.4%
	あてはまらない	6	1.6%
	非該当	0	0.0%
16 アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身に付けている。	全体	368	100.0%
	あてはまる	118	32.1%
	ややあてはまる	139	37.8%
	あまりあてはまらない	70	19.0%
	あてはまらない	41	11.1%
	非該当	0	0.0%
17 馬の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数の飼養者等を確保している。	全体	381	100.0%
	あてはまる	212	55.6%
	ややあてはまる	126	33.1%
	あまりあてはまらない	33	8.7%
	あてはまらない	10	2.6%
	非該当	0	0.0%



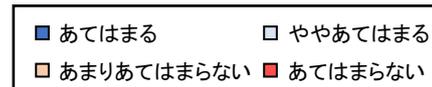
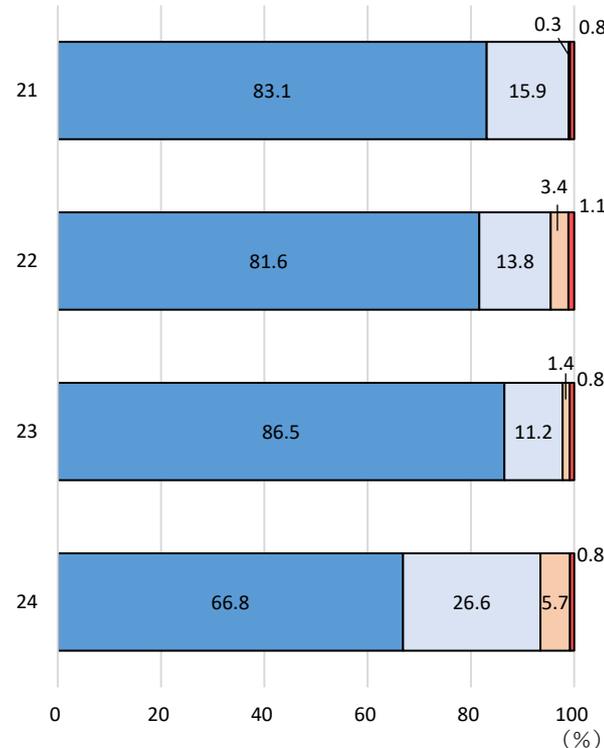
## ○ 飼養管理に関すること 2 栄養について

		回答数	割合
18 発育段階等に応じて、毎日、飼料及び水を質及び量ともに満たすよう給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱しないように管理している。	全体	384	100.0%
	あてはまる	324	84.4%
	ややあてはまる	55	14.3%
	あまりあてはまらない	3	0.8%
	あてはまらない	2	0.5%
19 全ての馬が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取できるよう、給餌及び給水の設備を設置している。	全体	385	100.0%
	あてはまる	340	88.3%
	ややあてはまる	38	9.9%
	あまりあてはまらない	4	1.0%
	あてはまらない	3	0.8%
20 給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行っている。	全体	383	100.0%
	あてはまる	331	86.4%
	ややあてはまる	44	11.5%
	あまりあてはまらない	5	1.3%
	あてはまらない	3	0.8%



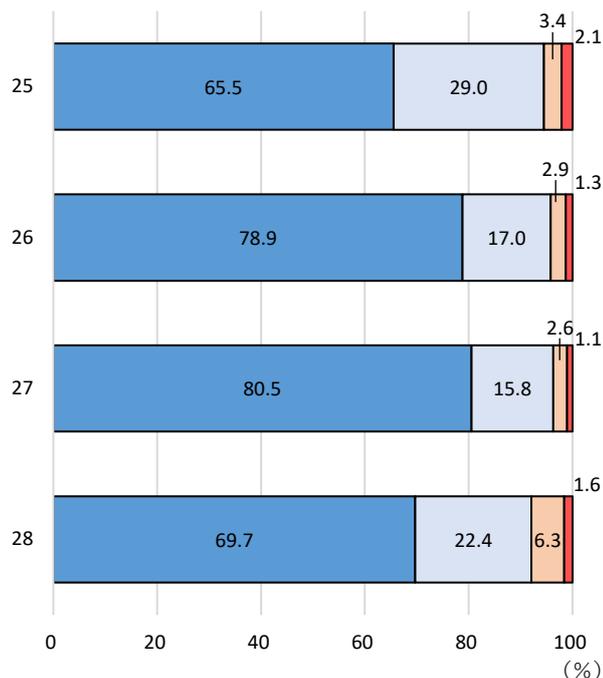
## ○ 飼養管理に関すること 3 厩舎と飼養方式について

		回答数	割合
21 厩舎内は、破損箇所によって馬が損傷しないよう修理を行うなど適切に維持・管理している。	全体	384	100.0%
	あてはまる	319	83.1%
	ややあてはまる	61	15.9%
	あまりあてはまらない	1	0.3%
	あてはまらない	3	0.8%
22 舎飼いされている馬は屋内のみでの飼養を避け、長時間屋内に閉じ込めないようにしている。	全体	354	100.0%
	あてはまる	289	81.6%
	ややあてはまる	49	13.8%
	あまりあてはまらない	12	3.4%
	あてはまらない	4	1.1%
23 舎飼いされる全ての馬に対し、敷料を提供し、清潔で乾燥した快適な横臥場所を提供している。	全体	356	100.0%
	あてはまる	308	86.5%
	ややあてはまる	40	11.2%
	あまりあてはまらない	5	1.4%
	あてはまらない	3	0.8%
24 放牧している場合、蹄の健康を保つため、放牧場の泥濘化(ぬかるみ)に注意している。	全体	368	100.0%
	あてはまる	246	66.8%
	ややあてはまる	98	26.6%
	あまりあてはまらない	21	5.7%
	あてはまらない	3	0.8%



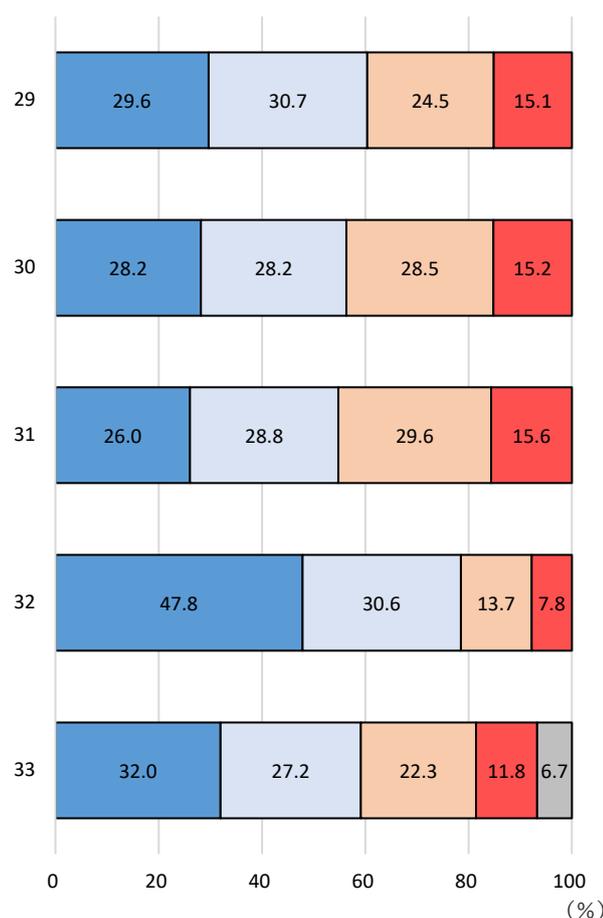
## ○ 飼養管理に関すること 4 厩舎の環境について

		回答数	割合
25 馬が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っている。	全体	383	100.0%
	あてはまる	251	65.5%
	ややあてはまる	111	29.0%
	あまりあてはまらない	13	3.4%
	あてはまらない	8	2.1%
26 厩舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	全体	383	100.0%
	あてはまる	302	78.9%
	ややあてはまる	65	17.0%
	あまりあてはまらない	11	2.9%
	あてはまらない	5	1.3%
27 馬の正常な行動や飼養者等の日常作業に支障が生じないよう、適切な照明設備等を設置している。	全体	380	100.0%
	あてはまる	306	80.5%
	ややあてはまる	60	15.8%
	あまりあてはまらない	10	2.6%
	あてはまらない	4	1.1%
28 厩舎内外の設備等は、可能な限り騒音を小さくするよう、設置及び維持・運用している。	全体	380	100.0%
	あてはまる	265	69.7%
	ややあてはまる	85	22.4%
	あまりあてはまらない	24	6.3%
	あてはまらない	6	1.6%



## ○ 飼養管理に関すること 5 アニマルウェルフェアの状態確認等について

		回答数	割合
29 「馬の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリスト等（その他類似するチェックシートを含む）を用いるなど、アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現状を確認している。	全体	371	100.0%
	あてはまる	110	29.6%
	ややあてはまる	114	30.7%
	あまりあてはまらない	91	24.5%
	あてはまらない	56	15.1%
30 災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マニュアル（緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの）等を整備している。	全体	369	100.0%
	あてはまる	104	28.2%
	ややあてはまる	104	28.2%
	あまりあてはまらない	105	28.5%
	あてはまらない	56	15.2%
31 危機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係者と共有している。	全体	365	100.0%
	あてはまる	95	26.0%
	ややあてはまる	105	28.8%
	あまりあてはまらない	108	29.6%
	あてはまらない	57	15.6%
32 自然災害等の影響により、馬や厩舎等に被害が生じるおそれがある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	全体	372	100.0%
	あてはまる	178	47.8%
	ややあてはまる	114	30.6%
	あまりあてはまらない	51	13.7%
	あてはまらない	29	7.8%
33 警報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。	全体	372	100.0%
	あてはまる	119	32.0% (34.3%)
	ややあてはまる	101	27.2% (29.1%)
	あまりあてはまらない	83	22.3% (23.9%)
	あてはまらない	44	11.8% (12.7%)
	非該当（予備システムを設置していない）	25	6.7%

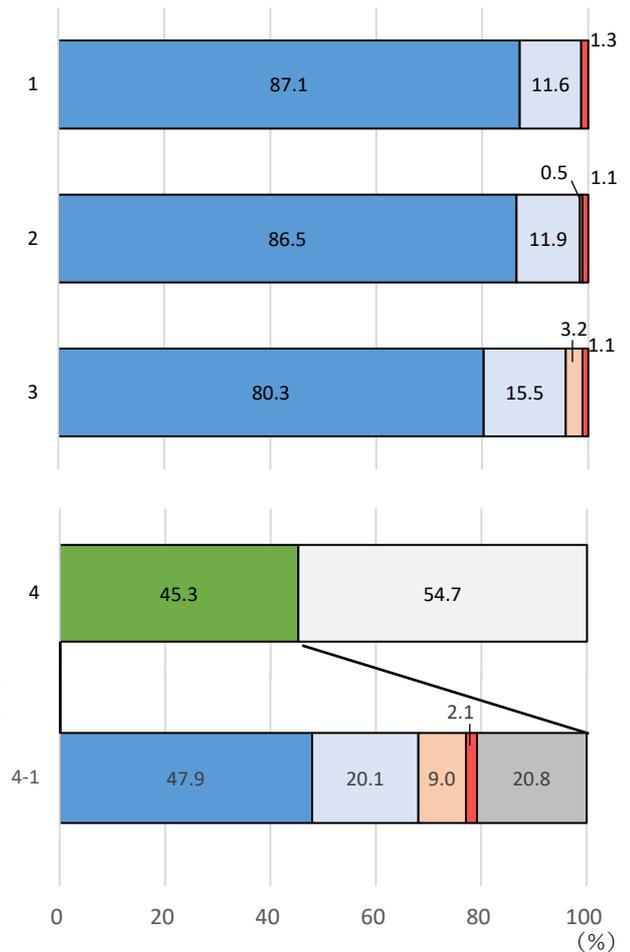


※( )内は非該当数を除いたときの割合

■ あてはまる □ ややあてはまる  
■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない ■ 非該当

## ○ 輸送に関すること

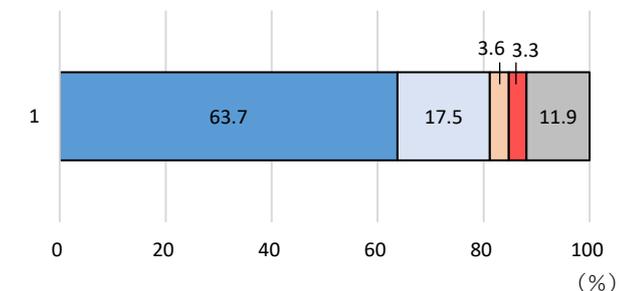
		回答数	割合
1 家畜の輸送に携わる全ての者が、家畜を丁寧に取扱い、責任を持って家畜を輸送している。	全体	379	100.0%
	あてはまる	330	87.1%
	ややあてはまる	44	11.6%
	あまりあてはまらない	0	0.0%
	あてはまらない	5	1.3%
2 輸送が家畜にとって過度な負担とならないよう、また、不要なストレスを与えないよう注意している。	全体	377	100.0%
	あてはまる	326	86.5%
	ややあてはまる	45	11.9%
	あまりあてはまらない	2	0.5%
	あてはまらない	4	1.1%
3 輸送にかかる総時間は最小限となるようにしている。	全体	375	100.0%
	あてはまる	301	80.3%
	ややあてはまる	58	15.5%
	あまりあてはまらない	12	3.2%
	あてはまらない	4	1.1%
4 家畜の輸送は、運送業者等外部に委託している。 (「はい」を選択した場合、以下4-1に回答)	全体	358	100.0%
	はい	162	45.3%
	いいえ	196	54.7%
	回答数	割合	
4-1 家畜の輸送を運送業者等外部に委託する際に、委託条件の中にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関する事項が盛り込まれている。	全体	144	100.0%
	あてはまる	69	47.9% (60.5%)
	ややあてはまる	29	20.1% (25.4%)
	あまりあてはまらない	13	9.0% (11.4%)
	あてはまらない	3	2.1% (2.6%)
	非該当 (確認できない)	30	20.8%



※()内は非該当数を除いたときの割合

## ○ 家畜の農場内における安楽死

		回答数	割合
1 獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者がその家畜を安楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。	全体	361	100.0%
	あてはまる	230	63.7% (72.3%)
	ややあてはまる	63	17.5% (19.8%)
	あまりあてはまらない	13	3.6% (4.1%)
	あてはまらない	12	3.3% (3.8%)
	非該当 (行う機会がない)	43	11.9%



※()内は非該当数を除いたときの割合

